

至 誠



小美玉市立小川南中学校 学校だより
NO. 34 令和2年 1月17日 発行

教育目標 これからの時代を切り拓く たくましい生徒の育成

キーワード 至 誠 ～ 精一杯 心をこめて ていねいに ～

本校教育へのご意見 ありがとうございました

12月に行いました学校教育に関するアンケートへのご協力ありがとうございました。アンケートに際して保護者の皆様から貴重なご意見をいただきました。一部を紹介いたします。

学習指導について

- 学校全体の学力が低いようで心配です。
- 先生の雑談が多く、英語の授業が分かりづらいと子供たちが話しています。
- 一部の教科に遅れがあるようで年度内に終わるのか心配です。3学期に詰め込みにならないか心配です。
- テスト前後のワーク提出はテスト範囲が課題のようだが、それを終わらすために必死で全くテスト勉強ができていない。もう少し課題の量を考えていただきたい。

生徒の学力を向上させることは、いつの時代でも学校が真剣に取り組むべき課題です。そのために本校では教師の指導力の向上と生徒の学習習慣の定着という2つの面から取り組んでいます。指導力の向上では生徒のつまずきやわからなさを大切にする学び合いの授業を推進し、学習習慣の定着では生活ノートを使って一人一人の家庭学習へのアドバイスをするようにしています。



学校生活全般について

- クラスの中に休みがちな生徒が多いことが心配です。
- 今年のあしのめ祭は会場の都合で午前みの開催となりましたが、合唱曲が1曲になりとても残念でした。うちの子も「来年も午前中で終わっちゃうのかなあ」とつまらなそうに話していました。
- あしのめ祭の時間進行が良かった。
- 保護者による朝のあいさつ運動は、中学生以外の兄弟がいる場合、スクールバスへの送り出しや車での送迎をしていると、協力したくても難しいと感じました。

学校に行きたくても行くことができない理由は一人一人様々です。生徒の気持ちが登校に前向きになるよう、保護者やカウンセラーと連携しながら取り組んでいきます。

3学期になり来年度の教育計画について、今年度の反省等をもとに検討に入りました。あしのめ祭や体育祭等の学校行事、日課表、生徒の登下校の問題点、部活動運営に関して、1月、2月で数回検討会を開き、3月にはある程度の方針を決めたいと考えています。



部活動について

- 夏休み、駅伝練習と部活動の練習合わせて5時間外で活動していました。夏休みの駅伝練習が妥当かどうか検討していただきたい。
- 部活動終了後、保護者が迎えに行くまで教室等で学習することはできないか。
- 朝練がある時に限っては、体操服での登校でもいいのではないか。

炎天下での練習は生徒の命に関わることで十分配慮して行っていたと思いますが、駅伝練習と部活動の練習を合わせると長時間になることも含めて、駅伝の練習計画について検討していきたいと思っています。

下校時刻にお迎えが来られない時には担任もしくは部活動顧問にお話し下さい。可能な限り対応していきます。

教職員について

- 一部の先生の態度や言葉づかいが悪い。
- 生徒のやる気をなくす発言はやめてほしい。
- 職員間で情報が共有されてなくて、まったくまとまりが感じられない。

『教師の一言で子どもは困難を乗り越え大いに成長する。しかしまた、教師の一言で子どもはやる気をなくし、努力することをあきらめる。』という言葉があります。「体罰は絶対しない」、「言葉の暴力それも体罰」、「生徒を一人の人間として尊重する」このことについては、年度当初に校長から全職員に説明した内容です。教職員の言動について気になることがありましたら、学校までご連絡下さい。